

◆棟別改修状況

広陵西小学校

棟番号	建物区分	構造区分	建築年月	保有面積	診断年度	診断結果			改修後の耐震性能		
						Is値	CT×SD値	q値	Is値	CT×SD値	q値
001 : 1	校舎	R	S. 43. 03	933	H09	0.48	0.37		0.79	0.53	
001 : 2	校舎	R	S. 43. 06	483	H09	0.48	0.37		0.79	0.53	
002 : 1	校舎	R	S. 43. 06	1353	H09	0.52	0.52		0.73	0.7	
003 : 1	校舎	R	S. 43. 06	160	H09	0.45	0.54		0.83	0.83	
003 : 2	校舎	S	S. 53. 08	21	H09	0.45		0.54	0.83		2.76
007 : 1	屋体	R	S. 43. 10	612	H10	0.58		1.10	0.93		1.31
009 : 1	校舎	R	S. 49. 03	452	H09	0.52	0.52		0.73	0.7	

広陵北小学校

棟番号	建物区分	構造区分	建築年月	保有面積	診断年度	診断結果			改修後の耐震性能		
						Is値	CT×SD値	q値	Is値	CT×SD値	q値
014 : 1	屋体	R	S. 44. 02	495	H11	0.41		0.76	0.85		1.26
016 : 2	校舎	R	S. 55. 07	1427	H10	0.65	0.96		0.87	0.84	
020 : 1	校舎	R	S. 55. 07	1517	H10	0.56	0.34		0.79	0.45	
021 : 1	校舎	R	S. 55. 07	1301	H10	0.56	0.36		0.77	0.54	

◆耐震化優先度調査結果

広陵西幼稚園

棟番号	建物区分	構造区分	建築年月	保有面積	優先度調査年	優先度ランク
001 : 1	園舎	S	S. 47. 03	456	H18	④

広陵西第二幼稚園

棟番号	建物区分	構造区分	建築年月	保有面積	優先度調査年	優先度ランク
001 : 1	園舎	S	S. 48. 03	496	H18	④

広陵北幼稚園

棟番号	建物区分	構造区分	建築年月	保有面積	優先度調査年	優先度ランク
001 :	園舎	S	S. 50. 03	320	H18	④

※ 用語解説

① 耐震診断

耐震診断は、新耐震基準(昭和56年以前)施行以前の建物について、地震に対する安全性を構造力学上診断するものであり、診断の結果、構造耐震指標(Is値)が0.6未満の場合、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性がある」とされています。

② Is値

Is値は(構造耐震指標)とは耐震診断により、建物の耐震性能(地震に対する安全性を数値化したもの)を示す指標で、Is値0.6以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省は学校では0.7以上に補強するよう求めています。Is値0.3未満は大規模な地震(一般的に震度6強程度)により倒壊の危険性が高い建物とされています。

③ CT×SD値

CT×SD値とは、建物にある程度の強度を確保する目的の形状(SD)や累積強度(CT)の指標に関する判定基準です。Is値が高くてもこの値が低い場合は安全としない目安です。CT×SD値が1.25以上ではIs値が低くても安全とし、0.3以下ではIs値を満足しても安全としません。

④ q値

q値とは、保有水平耐力に係る指標で、1.0以上であれば倒壊や崩壊の危険性が低く、1.0未満では危険性があるとされています。保有水平耐力とは、建物が地震による水平方向の力に対して対応する強さをいい、各階の柱、耐力壁及び筋かいが負担する水平せん断力の和として求められる値をいいます。

⑤ 構造

R:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造

⑥ 優先度ランク

耐震化優先度調査の結果、①～⑤までの5段階に判別された総合的な評価指標を表しています。数字が低いほど危険と見なされ、優先度ランク①が早急に耐震2次診断をすべき建物とされています。